

一級河川北上川水系 二迫川 荒砥沢ダムの効果(令和8年8月13日)

宮城県

○荒砥沢ダムでは、令和8年8月13日の不安定な大気をもたらす雨の影響により、**流域平均の累計雨量が100mm、最大時間雨量では50mmを記録しました。**これによるダムへの最大流入量は、計画430m³/sに対し、**74.60m³/sを記録しました。**

○今回の洪水調節により**最大流入時の93.7%(69.88m³/s)を貯留し、**下流河川の水位上昇を軽減しております。

ダムの位置図



荒砥沢ダムの洪水調節実績

・洪水調節	開始	12日 21時 50分	終了	13日 0時 0分
・ダム流域累計雨量		100 mm	(11日 21時 ~ 13日 4時)	
・最大時間雨量		50 mm	(12日 21時 ~ 12日 22時)	
・ダムへの最大流入量		74.60 m ³ /s	(12日 22時 40分)	
・最大流入時の放流量		4.72 m ³ /s		
・ダムによる最大調節量		69.88 m ³ /s	(約 93.7 %)	

ダムの状況写真



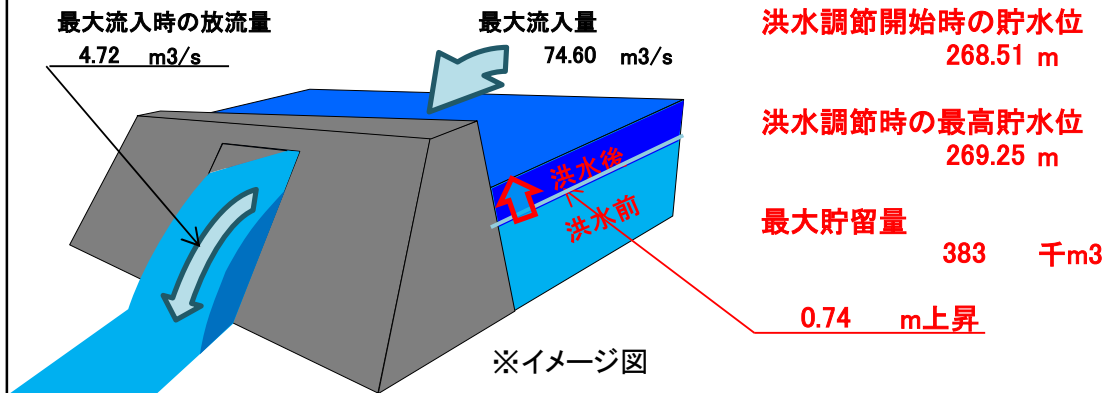
貯水位 ダム堤体上流
(撮影8月13日 12時20分)



ダム堤体下流
(撮影 8月13日 12時00分)

荒砥沢ダムによる調節量

最大流入時に、流入量の 93.7% をダムに貯留しました。



一級河川北上川水系 二迫川 荒砥沢ダムの効果(令和8年8月13日)

宮城県

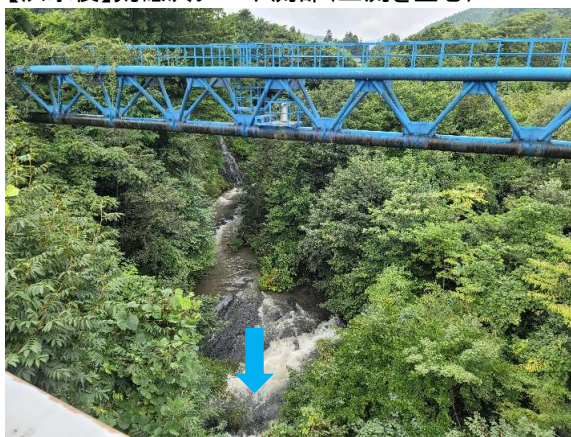
○荒砥沢ダムの洪水調節等により、この若柳地点で、**水位を約 0.38 m低減させる効果**があったものと推測され、河川がはん濫する危険を軽減し、迫川沿岸市街地の洪水被害の防止に努めました。

下流河川の状態写真



8/13 10:30 水位 1.67m

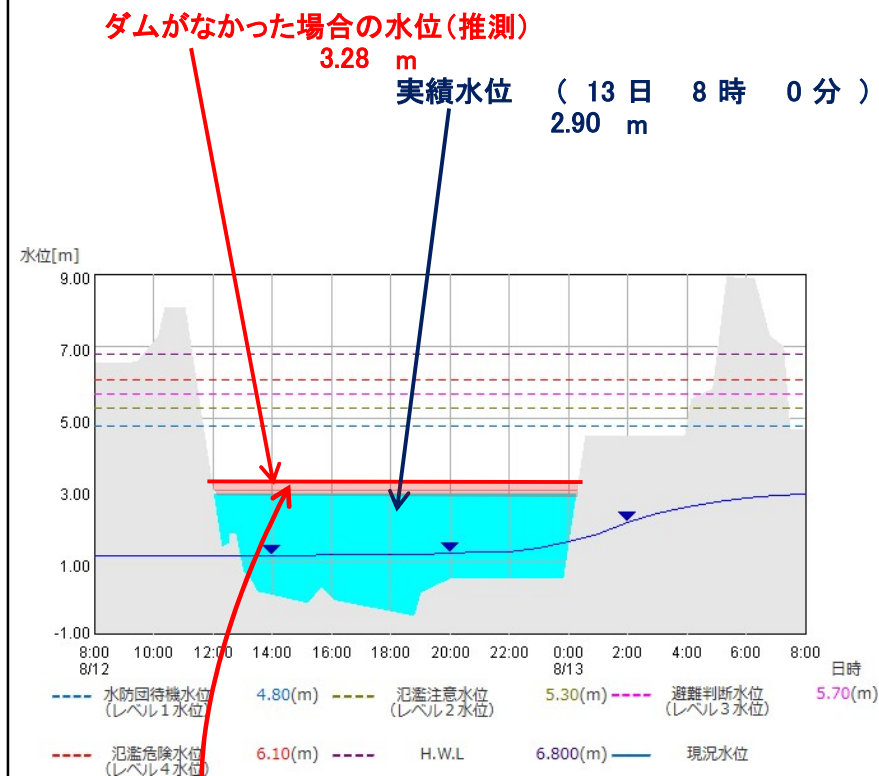
【洪水後】荒砥沢ダム下流部(上流を望む)



8/13 10:30 水位 1.67m

【洪水後】荒砥沢ダム下流 (上流を望む)

迫川(若柳地点)の水位低減効果



ダムにより約 0.38 mの
水位低減効果を推測